

沖縄のいま

うふざと伝道所牧師 島 しづ子 (第 23 回卒)

皆様、農村伝道神学校を支えて下さりありがとうございます。世界的な新型コロナウイルスの感染と予防策で疲労困憊の日々と想像いたします。お見舞い申し上げます。

私事、4 月 1 日から沖縄・南城市にあるうふざと伝道所に赴任しました。沖縄には同窓生も多くおられますので、新参者の私が沖縄の報告をすることには躊躇があります。が、最近のことをお知らせしたいと思います。

緊急事態宣言によって、沖縄でも自宅礼拝とする教会もありましたが、うふざと伝道所は短縮礼拝とし、半分の方が自宅礼拝を選んでいました。協力者のおかげで ZOOM 配信なども行いました。メッセージを「FB (フェイスブック) うふざと教会」でも配信しています。フェイスブックですと教会以外の方も読んで下さり嬉しいことでした。外出も制限されていましたが、買い物のついでにいくつかの戦跡を歩きました。20 分ぐらいで南部の戦跡を訪ねることができる住環境です。

1945 年 3 月 26 日、米軍が慶良間諸島に上陸し、4 月 1 日には沖縄島の中部西海岸に上陸。その後、沖縄島の南端まで日本軍と住民は追い詰められて、6 月 23 日に日本軍の組織的抵抗は終了します。その後も戦闘は続きましたが、この間に犠牲になった住民の数は軍人よりも多く、住民の 4 人に 1 人が犠牲 (約 15 万人) になったとのこと。美しい摩文仁の丘、知念岬に立ちますと、あまりの美しさに悲しみが湧いてきます。

先日は宜野湾市の普天間基地が望める嘉数の丘に行きました。日曜日の午後でしたから軍用機は飛んでいませんでした。嘉数の丘から見ると、町の中央に緑の基地が広がり、隣接して住宅が密集しています。それぞれの建物に生活している人々がいるというのに、お構いなしに騒音と危険をまき散らす基地。4 月 10 日に普天間基地から PFOS 含有 (有害) 物質を含む泡消火剤が大量に漏出するという事件がありました。有害物質が土壌、水質にもたらす危険。そして海に流れて拡散されました。



うふざと伝道所 5 月 17 日就任式。
前列右から 2 人目が筆者。

沖縄には記憶すべき記念日があります。
1) 1951 年にサンフランシスコ講和条約が結ばれ、1952 年 4 月 28 日に発効され、沖縄の施政権が米軍のもとに置かれました。この日を沖縄は「屈辱の日」としています。人権が蹂躪され、基地負担が増した米軍支配下で 27 年間過ごしました。

2) 1972 年 5 月 15 日、沖縄の施政権が日本に返還されました。しかし復帰後も基地負担は変わらず、米軍による住民の人権は踏みにじられたままでした。

3) 1974 年県条例で「慰霊の日 (6.23)」が制定されました。この日、糸満市摩文仁の平和祈念公園で沖縄全戦没者追悼式が行われてきました。今年是小規模で行うようです。魂魄の搭でも有志によって慰霊祭が行われることでしょう。

これほどの犠牲を強いられてきたのに、さらに新基地建設の問題があります。4 月 15 日から新基地建設抗議行動は「いのちをまもる」観点から中止していました。その後、工事関係者にコロナに感染した人も出て土砂投入は中止になっています。6 月からの方針は近々発表されます。今日は新基地建設のために土砂投入された大浦湾を見てきました。大浦湾を望むと、無粋な高いクレーン車、オレンジ色のフロートがわがもの顔に並んでいます。辺野古に回ると、キャンプシュワブのフェンスの向こうに巨大なテトラポットが並び、海に突き出ていました。粘り強く抗議する方々と共に歩きたいと願っています。

「若者は幻を見、老人は夢を見る」(使徒言行録 2 章 17 節後半) 後援会長 島しづ子



嘉数の丘から普天間基地。

豊かな自然環境で無農薬野菜を育てませんか

大地と共に生きる

農村伝道神学校
事務 沼田弘行

私は今、貸出農場施設の事務管理を担当しています。

2020 年 4 月 1 日現在の貸出農場利用者は、7 団体 16 区画、個人 31 人 36 区画です。無農薬野菜を各人がいろいろな思いを込めて育てています。15 年以上、趣味で野菜作りをしている人や、初めて野菜作りを始めた人と、農場で知り合いになり、野菜作りの失敗談や自慢話をしています。農場には学生の実習農場があり、神学生と農場施設利用者の交わりの場としても活用しています。4 つの幼稚園が農場施設を利用して、さつま芋の植え付けや収穫ではしゃぎまわり、元気な声に平和を感じています。

今年は新型コロナウイルスの感染の影響を受け、経済活動が停滞している反面、地球温暖化を引き起こす CO₂ の排出量が大幅に減ると予測されています。国際エネルギー機関 (IEA) は、2020 年の CO₂ 排出量が前年比 8% 減少する推計を、4 月に発表しました。経済活動を最優先に考え、自然破壊を進める人間に、少しは自然の環境破壊が進んでいることを考えてとの警告かと思っています。このように書くと、新型コロナウイルスの感染拡大を歓迎しているように思われますので、歓迎してないと明記します。

自然をありのままに受け入れる施設が、農伝の農業施設が存続する一つの意義だと私は思っています。自然の中で無農薬野菜を育て、恵として感謝して、育てた野菜を食べる。自分が育てた野菜が多くできた時は、野菜を周りの耕作利用者に分け与えている光景をよく見ます。そのたびに、神様の恵を感じます。

農村伝道神学校の教育の目標は、「農」の営みによっていのちを育む大地にかかわり、いのちと食、さらに生態の保存を課題としています。大地は生きて、私達と共に歩んでいます。あなたも、土と触れ合い、自然と触れ合い、喜びを共に農伝の施設で感じ取りませんか。農業未経験者も、ベテランの方もぜひ一緒に、お待ちしております。



貸出農場についての お知らせ

耕作地は農村伝道神学校敷地内です。

＊使用料

個人：1 区画 30m²
年額 15,000 円

団体：1 区画 50m²
年額 25,000 円

＊2 区画以上の貸出も可能です。

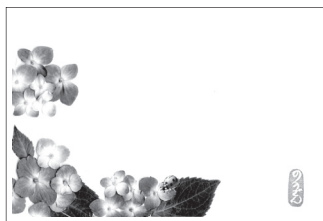
＊水道、トイレ、駐車場あり。
＊貸出農場について、お気軽
にお問い合わせください。

農伝事務所
042-735-5775

～のうでんハガキでおたよりを～ カラーはがきです！



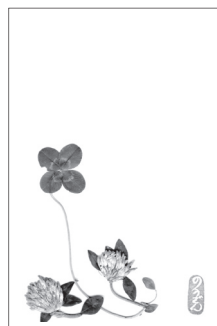
①ゴーヤとなすと
ミニトマト



②紫陽花とテントウムシ



③そら豆と
唐辛子



④四つ葉の
クローバー



⑤デュランタと蝶

古川力也さんが農伝の草花、畑の収穫をカラー撮影、画像処理しました。1 枚 50 円+送料。ご注文は、はがき番号と枚数をお知らせください。郵便払込票を同封のうえ、発送します。のうでんハガキ一覧も送付送信します。 農伝事務所 FAX 042-735-5711 TEL 042-735-5775 Eメール kouenkai@noden.ac.jp

3/7 予定 農村伝道神学校 70 周年記念支援コンサート ご報告



神奈川県川崎市まぶね教会で開催予定でしたムジカ・フェリチタによるコンサートは、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、3/7は実施せず、延期開催の予定です。

ご準備いただいたまぶね教会と演奏者、参加ご予約いただいた皆さまに感謝を申し上げます。 農伝後援会

*イラストの小鳥はチェンバロの図柄より。



農伝を大きく支える献金 2020 年度も後援会献金目標額 800 万円！

全国の教会、学校、グループ、個人の皆さまからの献金とお祈りに深く感謝をいたします。2019 年度は、4 人の卒業生を宣教者として送り出すことができました。

2020 年度は 3 人の 1 年生を迎えましたが、コロナ禍に見舞われ、農伝も波乱のスタートとなりました。卒業式は例年の懇親会はなく、礼拝堂だけで心に残る卒業式でしたが、式の後も多くの来場者が卒業生を囲み、お祝いの輪が続きました。しかし 4 月 1 日予定の入学式は延期となり、一時は学生と教師、理事会だけの式を計画しましたが、それもできず、5 月 14 日、オリエンテーションのなかで入学を開始しました。詳しくは学報に報告されていますが、教師による一部の授業開始が 5 月 19 日、すべての講師による授業開始が 6 月 2 日になりました。それも講師のほとんどはオンライン授業になり、講師も学生も大変なご苦労があることと思います。このような状況で、学校は前期授業料免除、奨学金全額支給を決断しました。1 年生のなかには早くから寮に入り、アルバイトもできない学生が多く、学生の勉学を支えたい気持ちが実るようお祈りいたします。

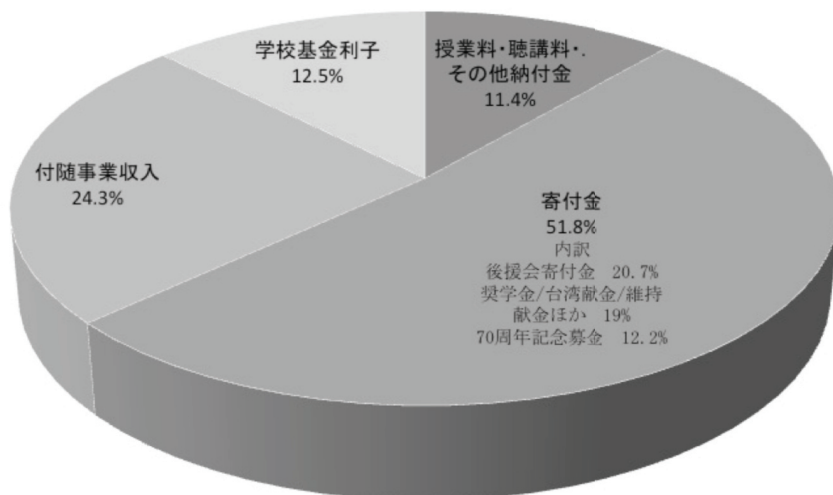
前号の事務局だよりでの、神学校というところは学生の学費だけで経費を賄えないこと、全国の教会現場を支える宣教者を生み出すために、多額の経費がかかることをご理解いただき、3 月に多くの献金が寄せられ、感謝をしております。昨年の収入割合を円グラフにしました。学校収入の半分以上を寄付金、すなわち献金・募金で支えていることが分かります。

昨年度は、会計報告(4 頁)のように目標額 800 万円のところ残念ながら 700 万円を学校に献金しました。3 月にコンサートが開催できなかったこともありましたが、献金件数の減少がありました。例年の奨学金・台湾献金・維持献金に加えて、70 周年記念募金もご協力いただいたことが大きかったことと思います。

今年度も後援会献金目標額を 800 万円として到達したいと、キリスト教系学校への呼びかけ、10 月にリードオルガン修復記念コンサートなど、計画しております。学校、グループ、個人の方などをご紹介いただければ、「後援会だより」「学報」を送付いたします。全国からぜひ、支援と祈りを寄せていただけると幸いです。

(実務会委員) 小海 基

2019 年度収支内訳比率



●お願い

領収証ハガキを必要とされる方は、右図のように、
☐ 要 に必ずチェックを入れてくださるよう、お願いします。

払込取扱票 (メッセージ欄の下)

領収証 チェックを入れてください。

☒ 要 ☐ 不要

2020年度 農村伝道神学校後援会会計報告

2020年2月1日～2020年5月31日（ ）内の数字は回数で、金額はその合計です。

後援会献金（団体）			太田 一男	3,000	合計 47 件	志村栄光教会	5,000	大和教会	5,000	中野百合子	1000			
阿久根伝道所	10,000	大仲 朝江	15,000	金額	462,400	首里教会	5,000	弓町本郷教会	5,000	中屋敷恵美子	3000			
厚木上教会	5,000	奥田 信夫	5,000	記念日他献金（団体）			白鷺教会	7,000	横浜上原教会	10,000	深澤 正勲	2,000		
尼崎教会	3,000	表見 聖	3,000				新生釜石教会	5,000	横浜英和学院	20,000	福島恒雄・福島幸子			
岩槻教会	10,000	金井 良樹	10,000				愛川伝道所	15,000	代々木上原教会	20,000		10,000		
大分教会	5,000	狩野 廣	1,500	会津農村伝道センター		世真留教会	5,000	竜ヶ崎教会	15,000	星 和夫	5000			
岡崎茨坪伝道所	4,000	川島 堅二	5,000		5,000	仙台川平教会	10,000	合計 76 件		前地 洋美	5,000			
岡山教会	20,000	菊地 幸子	10,000	青山学院高等部	40,000	仙台北教会	6,500	金額	746,600	松本実枝子	5000			
片倉教会	3,000	木田みな子	5,000	青山学院初等部	10,000	草加教会	10,000	記念日他献金（個人）			馬淵由季子	10,000		
草津教会	10,000	公森 健郎	20,000	青山学院中等部	10,000	捜真学院	13,000				天野敬一・はるゑ	5000	三原 仁子	10000
高座渋谷教会	5,000	清田 勝義	2,000	石橋教会	5,000	高の原教会	5,000				石坂 桂子	10,000	森永 肇子	3000
越谷教会	10,000	久保 博夫	3,000	一関教会婦人会	5,000	茅ヶ崎恵光教会	10,000	石橋 光朗	2000	山川 恵子	10,000			
埼玉和光教会	30,000	小手川 到	5,000	今治教会	10,000	土佐教会	5,000	岩崎 和子	5000	渡辺 重義	10,000			
三枝集会	10,000	佐々木睦子	5,000	江古田教会	5,000	名寄教会	5,000	上西知子・哲雄	3000	合計 41 件				
シオン幼稚園 クローバーの会	100,000	佐藤 潤子	5,000	大泉教会	10,000	西那須野教会	5,000	浦部 昭一	3000	金額	267,500			
田浦教会	10,000	三宮 千枝	3,000	大泉ベテル教会	5,000	日進教会	5,000	大久保徹夫	2000	ひとつぶ献金				
高崎教会	5,000	島 しづ子	100,000	大阪城北教会	10,000	沼津岳南教会	5,000	小倉 隆一	50,000	生田教会	110,100			
玉出教会	20,000	白鳥吉夫・律子	10,000	大船教会	5,000	東中野教会	10,000	甲斐 勝美	3000	石津教会	40,000			
中標津伝道所	10,000	菅野 健	10,000	大鰐伝道所	5,000	東美教会	4,000	樺澤 幸雄	3,000	荻窪教会	32,000			
那須塩原教会	10,000	外谷 悦夫	10,000	隠岐教会	7,000(2)	ひの木教会	3,000	北村 慈郎	20,000	上大岡教会	18,000			
東梅田教会	3,000	月本 昭男	5,000	荻窪教会	10,000	弘前教会	5,000	木下 良子	5,000	軽井沢追分教会	25,400			
東広島教会	5,000	戸井 雄二	2,000	荻窪教会ラオス会		福岡女学院教会	5,000	木下久美子	5,000	川和教会	45,000			
日野台教会	30,000	徳島恵子	5,000		5,000	藤崎教会	5,000	吉良 保子	5,000	世真留教会	25,200			
水元教会	10,600	鳥羽加陽子	10,000	奥沢教会	10,000	富士見高原教会	5,000	栗原 健	1500	鶴川北教会	50,400			
八重山中央教会	20,000	中田 悦子	5,000	小田原教会	30,000	本所緑星教会	10,000	小池 健治	5,000	鶴川教会	49,000			
安岡教会	5,000	西村保典子	15,000	鹿児島加治屋町教会	15,000	幕張教会	5,000	河野通久	3000	東梅田教会	32,600			
横浜磯子教会	5,000	野崎 典子	5,000	金沢八景教会	10,000	松本教会	11,000	小林利明・恒子	4000	日野台教会	9,600			
六角橋教会	30,000	服部 道子	3,000	鎌倉教会	10,000	松本筑摩野伝道所	16,100	小柳 伸顕	3,000	まぶね教会	8,200			
合計 27 件		服部栄・圭子	5,000	川和教会	20,000	水口教会	4,000	坂本 梅子	10000	横浜二ツ橋教会	18,100			
金額	388,600	早川三南子	5,000	久留米東町教会	10,000	溝ノ口教会	20,000	佐藤 節男	10,000	竜ヶ崎教会	24,900			
後援会献金（個人）			原 誠	3,000	神戸栄光教会	10,000	三鷹教会	60,000	佐藤 潤子	5000	合計 14 件			
			比企 敦子	10,000	小田原教会	30,000	南豆教会	10,000	白鳥吉夫・律子	5000	金額	488,500		
			藤村誠・耀子	3,000	鹿児島加治屋町教会	15,000	むさし小教会	5,000	酔屋 善元	2000	2019年12月24日			
浅野 直人	5,000	保田 茂	3,000	国分教会	10,000	明治学院教会	10,000	世古 敬子	3000	記念日他献金				
雨宮 剛	3,000	馬淵由季子	10,000	西条栄光教会	5,000	明治学院中学校東村山		高倉 謙次	3000	在日大韓基督教会				
伊藤 武子	30,000	守田 美恵	1,000	埼玉大通り教会	5,000	高等学校	30,000	高寺 幸子	5,000					
伊藤 誠之	10,000	R&圭子ウィットマー		佐原教会	10,000	八重山中央教会	10,000	武田 利邦	10000					
井上したふ	3,000		40,000(4)	三軒茶屋教会	5,000	八雲教会	10,000	田村 修也	3,000					
大嶋果織	5,000	渡辺志津枝	45,900	四条町教会	5,000									

2019年度農村伝道神学校後援会会計報告

2019年4月1日～2020年3月31日現在

収入の部（単位：円）					支出の部（単位：円）		
費 目	2019年度		前年度		費 目	2019年度	前年度
	件数	金額（円）	件数	金額（円）			
後援会費（団体）	80	1,482,857	81	1,486,512	神学校献金	7,000,000	8,710,000
〃（個人）	184	1,493,000	236	2,222,900	通信費	505,621	525,435
記念日献金（団体）	277	3,167,703	343	3,148,058	印刷費	558,714	598,505
〃（個人）	219	1,400,500	197	1,794,130	事務費	664,072	643,230
ひとつぶ献金	35	1,270,200	37	1,278,627	グッズ材料費	68,641	57,520
コンサート		0		158,642	その他	3,000	0
グッズ		282,660		287,600	振替手数料	133,234	94,578
繰越金		60,504		313,303	繰越金	224,142	60,504
合 計	795	9,157,424	894	10,689,772	合 計	9,157,424	10,689,772

事務局だより

*後援会会長の島しづ子牧師に新たな赴任先から「沖縄のいま」をお書きいただき、記憶すべき6月23日発行号に掲載できました。島会長撮影の「辺野古の浜に突き出したテトラポット」など多くの写真を掲載できず残念！ 学報題字の下の「辺野古新基地建設反対！」を上げ共に歩みましょう。

*コロナ禍で全国の教会がご苦労のなかにおられることと思います。台風被害、原発被害も続かなかで大変な日々と想像いたします。各地の声をお寄せいただき「後援会だより」に掲載できたらと願っております。

*農伝の大地の恵みに感謝して「大地と共に生きる」を2頁に掲載いたしました。

発行 農村伝道神学校後援会
会 長 島 しづ子
事務局長 長谷川りゑ子

〒195-0063 東京都町田市野津田町 2024

TEL 042-735-5775 FAX 042-735-5711

E-メール: noden@pony.ocn.ne.jp

ホームページ: https://noden.ac.jp/

振替番号 00120-6-24418